

新中期経営計画「Advance 2025」



持続的な成長を目指して

前中期経営計画「New Value 2022」では、既存事業領域での収益力を拡大・強化するとともに、新たな成長基盤の確立に取り組みました。液晶ディスプレイ関連分野での粘着剤のシェア拡大や生産設備増強による競争優位性の強化のほか、研究開発や新規事業創出においても一定の成果がありました。最終年度における原材料価格高騰や液晶ディスプレイ関連分野での生産調整の影響を受け、利益目標を大幅に下回る結果となりました。当社グループは、激変する事業環境の中で、安定的

かつ持続的な利益成長を果たすために、環境変化に強い事業構造への転換が不可欠との認識に立ち、事業ポートフォリオの変革に向けたファーストステップとなる新中期経営計画「Advance 2025」をスタートしました。独自の技術・製品開発力を磨き、環境・社会課題の解決を志向した事業領域の創出と事業構造の変革によって新たな成長軌道を築き、社会の発展とともに成長し続ける企業集団を目指してまいります。

新中期経営計画「Advance 2025」の概要

新中期経営計画「Advance 2025」基本方針

収益基盤の維持・拡大と収益性の改善によりキャッシュ創出力を高め、事業ポートフォリオの変革に向けた新たな事業領域の創出に経営資源を積極投入し、安定的な利益成長が実現可能な経営基盤を構築する

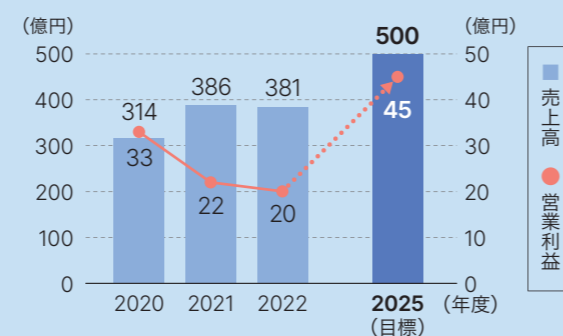
ビジョン

独自の技術・製品開発力を磨き、環境・社会課題の解決を志向した事業領域の創出と事業構造の変革により、新たな成長軌道を築き、社会の発展とともに成長し続ける企業集団を目指す

重点施策 ①	既存事業による安定収益基盤の拡大と収益性の改善	液晶ディスプレイ関連の需要拡大に応じた生産・供給体制の強化と合理化を追求するとともに、自動車や情報・電子デバイスなど成長分野での新たなニーズ獲得、環境負荷低減製品の拡充を図るために販売・開発体制を再編・強化する。
重点施策 ②	事業構造改革に向けた次世代事業領域の創出	次世代の新たな事業領域を創出するために、バイオマス材料・製品開発の基盤技術の確立、革新的な生産プロセス技術の開発、新たな海外事業地域の探索・推進体制の構築などに注力する。
重点施策 ③	サステナビリティ経営の推進	次世代を担う多様な人材の活躍・成長を促す人事制度改革、脱炭素・循環型社会への貢献、環境変化に応じたリスク管理・コンプライアンスの高度化、生産性向上と新たな価値創造につながるデジタル技術導入など、サステナビリティ活動推進体制を構築する。

数値目標

	2022年度実績	2025年度目標	増減
売上高	381	500	+119
営業利益	20	45	+25
営業利益率	5.3%	9.0%	+3.7pt
ROA	4.7%	7%以上	+2pt以上
ROE	4.9%	9%以上	+4pt以上



環境変化に耐え得る財務体質の維持と株主資本コストを上回るROE水準の確保

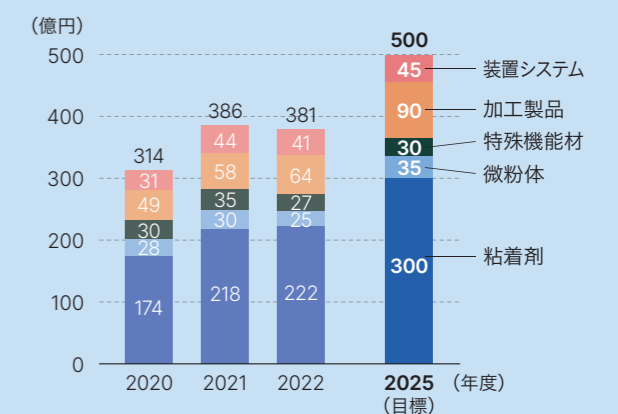
中期	注力分野でのシェア拡大と生産性向上により、ROE 9%以上を実現
長期	業績変動リスク低減を意図した事業ポートフォリオ改革により、ROEを安定化

投資計画(2023～2025年度)

投資総額	200
生産能力増強、設備維持・更新	70
研究・技術開発	35
情報インフラ、環境整備	25
成長投資枠(新規事業・技術開発・海外新規開拓ほか)	70

セグメント別売上高

	2022年度実績	2025年度目標	増減
ケミカルズ	339	455	+116
粘着剤	222	300	+78
微粉体	25	35	+10
特殊機能材	27	30	+3
加工製品	64	90	+26
装置システム	41	45	+4
合計	381	500	+119



- ケミカルズ
 - 液晶ディスプレイ分野での高シェア維持・拡大、生産性向上による利益改善
 - 環境対応製品などの高付加価値製品による新規用途・顧客開拓
 - 自動車/情報/電子デバイス分野での新規製品の販売・開発体制強化
- 装置システム
 - メンテナンス/熱媒体油を主軸とした事業構造への転換による収益の安定化、収益性の向上